# 江戸時代における目黒地域の農業生産

梅　一声

〔はじめに〕

私は平成元年より東京都目黒区洗足に住居を構えている。この地は江戸時代には、武蔵国（武州）荏原郡馬込領碑文谷村と称せられていた。

与えられましたレポートの命題にそって、この碑文谷村を含む江戸時代の目黒六ヵ村（現在の目黒区）の農業生産を中心テーマに論じることとする。

目黒六ヶ村（三田村・上目黒村・中目黒村・下目黒村・碑文谷村・衾村）においても、年貢の問題、村騒動（一揆は記録されていない）、文政の改革への対応、飢饉への対応等々政治問題は生じてはいるが、それよりも本地域が、江戸城下町の南西部にあって近郊周辺農村の一つとして、巨大都市大江戸の食を支えて来たことが地域性の特色であると考える。

近郊周辺農村の代表格としては、東の葛西、北の駒込が上げられる。南西部の目黒六ヶ村を論じる時に葛西地区との比較も適宜行っていきたい。

本地域の農業生産の特性は、結論として言えることは、水田に向く土地が割合的に少なく（水田率１４パーセント）、よって畑作の依存を大きくせざるをえない。畑作も地味的に決してよくない地質のもとで蔬菜作りに力を入れ、江戸城下町向けに出荷していった。

その中で、地域特産として「目黒の筍」を育て上げた。

農業生産にとって重要である地勢を調べ、即ち東京（武蔵野）と目黒区（目黒六ヶ村）の地勢から説き起こし農業生産の実態を論述することとする。

（注１）現目黒区、目黒六か村、目黒地域と以後適宜称するが地理的な範囲は同じである。

（注２）数字データについては、記述の都度出典を記すが、その外の記述の出典は特記する以外は参考資料として別紙に一括記載する。

目次

〔はじめに〕
一、東京都目黒区の地勢
（１）東京（江戸）の地勢の概要
（２）目黒区の地勢
二、目黒六ヶ村（江戸時代）
（１）三田村
（２）上目黒村
（３）中目黒村
（４）下目黒村

（５）　碑文谷村
（６）　衾村
三、目黒地域の農業生産
（１）　江戸周辺の農業
（２）　目黒地域の水田
①　水田の状況
②　葛飾地域の農業
③　水田の特性
（３）　目黒地域の畑作
①　江戸周辺の畑作
②　目黒地域の蔬菜生産
四、肥料
五、余録
（１）青木昆陽
（２）目黒のさんま
〔おわりに〕

一、東京都目黒区の地勢

その地域の農業生産にもっとも重要事象は地域の地形、水系、土壌、気候等の地勢である。この地勢にあわせて農産物の種類や取れ高が決まってくる。

又、消費地である江戸よりの距離も大事である。

この意味から次の通り先ず、地勢等についての重要事項をまとめてみた。

（１）　東京（江戸）の地勢の概要

○　関東平野の南部中央に位置し、南は東京湾に面する。西は武蔵野台地がひろがり、多摩川を挟んで多摩丘陵が連なる。東は隅田川、江戸川、利根川、荒川の三角州（低地）である。

○　現在より２万年前以前は（最終氷河期）で東京付近は、最大１３０㍍海面が低下しており、東京湾はほとんど陸地であった。二万年前以降より温暖期＝後氷期に入り、縄文時代前期（６千年前）は現在より海面は３メートル高い。当時、目黒地域を流れる目黒川、立会川、呑川一帯は海岸線であったと思われる。

それ以降は徐々に氷期に入り（温暖と寒冷を繰り返しつつ）今日に至っている。

（２）　目黒区（江戸時代の目黒六ヶ村）の地勢

①　位置

（別紙図　資①「東京都全図」全国分県地図より）

東京都二十三区の一区で都心の南西部に位置し、東は品川区、港区、西は世田谷区、南は大田区、北は世田谷区に接している。

区内の現在の町名は次の通りである。

駒場一～四丁目（以下丁目を略）、青葉台一～四、東山一～三、上目黒一～五、中目黒一～五、三田一～二、目黒一～四、下目黒一～六、中町一～二丁目、五本木一～三丁目、祐天寺一～二丁目、中央町一～二丁目、目黒本町一～六、原町一～二、洗足一～二、南一～三、碑文谷一～六、鷹番一～三、平町一～二、大岡山一～三、緑が丘一～三、自由が丘一～三、中根一～二、柿の木坂一～三、八雲一～五、東が丘一～二

（江戸日本橋よりの距離は二～三里）

②　面積

１４・７平方キロメートル

東京都の全体の面積の０・７１パーセント、二十三区全体の２・５パーセント（十六番目の広さ）

③　人口

○　現在（平成十八年七月一日）　世帯数　１３万７３２１世帯

人口　２５万９９５人

（注）目黒区のホームページより

○　東京府志料（明治五年）　戸数　１０３８戸

人口　５３１６人

（注）江戸時代の詳細統計資料がないので、明治五年の戸籍をもって江戸時代の人口とした

④　地形

（別紙　図資②「山の手台地の構造」・資③「東京都心にある山」・資④「目黒区内遺跡分布図（地形・高低を見るために）」）

東の荒川と西の多摩川の間に位置するのが武蔵野台地である。この武蔵野台地の西南部を荏原台（標高は２０～４０メートル、）と称する。反対側の東北部を淀橋台（標高４０メートル）と称する。この荏原台と淀橋台と間に目黒川を挟み、川の西側の低い台地が目黒台（標高２０メートル）である。

目黒区は全体面積１４・７平方キロメートルの内、荏原台に四分の一、淀橋台に四分の一そして目黒台と斜面と川筋の平坦部で四分の二程度の地積構成である。

⑤　主な水系（江戸時代）

○　目黒川

目黒区内を流れる川・用水で一番大きい川である。世田谷上高井戸付近に発する北沢川と烏山川が世田谷三宿付近で合流して、淀橋台と目黒台の間を流れて品川で東京湾に注ぎ込む。河口付近では品川と言ったこともある。

（現在は、新宿区上落合の落合処理場の高度な処理水が送水されている。）

川幅は現在のコンクリートの護岸で、幅は２５メートル位弱の所が多い。（目測）

川の北側は淀橋台に続く切立った急斜面で、南側は目黒台に続く緩斜面である。

南側には厚さ数メートルの沖積層がある。

目黒川への支流は目黒台に発する細流だけであった。蛇崩（じゃくずれがわ）川、谷戸前川、羅漢寺川でいずれも地下水・湧き水を源にする小川程度の川である。（現在、蛇崩川は暗渠、後の二川は地図上見当たらない）

○　立会川

目黒台西部の碑文谷池、清水池（いずれも地下水を溜めた灌漑用水の溜池）より南東に流れ、目黒台より２～３メートル低い凹地を進み、東京湾に注ぎ込む。

（現在は、幅２メートルの暗渠になっている。）

昭和二十九年の暗渠前の写真を見ると土手のない小川のようである。

○　呑川

世田谷区内の荏原台北部に源を発し、細流を合し大田区より東京湾に注ぎ込む。

（現在は、幅２メートルの暗渠になっている）

○　三田用水

目黒区北部駒場から渋谷区を東南に流れ、目黒川に流れ込む

玉川用水を分水したもので、当初は飲料水であったが享保７年に農業用水になった水路である。（現在は暗渠）

⑥　地質と土壌

（別紙　図資⑤「目黒区の地質断面」）

○　ほとんどの台地部分は、武蔵野の代表的な地質である。表土（２０～４０センチメートルは黒土（腐植土）でその下は赤土（関東ローム層）である。

○　目黒川、立会川、呑川が流れる周辺のわずかな低地部分（谷底平野）は沖積地である。

地質は、灰色、青灰色の粘土シルト、砂質シルトでその上に褐色の砂礫又疎脳

上に盛土の構成である。

○　地下水面は川周辺の低地部分で地面ぎりぎり、台地部分では２～２５メートルとばらつきがある。

⑦　湧き水

○　目黒川両岸の台地の崖と目黒台の上に多い。

○　碑文谷池や清水池はこれらの湧き水の集積である。

⑧　気候

（数値は「目黒区史」より

○　気温・・・・１月　３度Ｃ、　４月　１３度Ｃ、　８月２７度Ｃ
　　１０月　１６度Ｃ　（１９５１年～１９５５年平均）
　　都心に比べ０・５～１度Ｃ程度低い
　　東京は都心から外郭へ向かって気温が下がる。

○　降水量・・・６月と９月の降水量が多い。（１９０～２１０ミリ）１２～２月の期間は少ない。年によって特に夏季については降雨量の差がある。
　　（１９５１年～１９５５年平均）
　　東京は東から西にかけ降雨量が増える傾向にある。

二、目黒六ヶ村（江戸時代の目黒地域）

目黒六ヶ村（江戸時代における三田村、上目黒村、中目黒村、下目黒村、碑文谷村、衾村）は、武蔵国荏原郡に属している。

武蔵国は現在の東京都の全域と埼玉県と神奈川県の北東部の一部を範囲とした。律令時代は二十一郡で、東京都は荏原郡、多摩郡、豊島郡、足立郡が含まれる。江戸は豊島郡江戸郷である。

古代の行政区画では当初東山道であったが、八世紀に東海道に編成替えになった。これは古くは、荏原郡を含む関東南部がまだ入り江や、沼沢地が多く、人馬の通行に困難を来たしていた。

相模（東海道）と上総（東海道）と間は古くは、江戸湾を舟で運行するのが普通であった。武蔵国は近畿から見れば、奥羽に通ずる上野、武蔵、下野の一連であって東山道の一つの国であった。それが沼沢地の乾燥により、通行が可能になり、人々が住むようになり、東山道より、東海道に編成替えになったものである。

これから見ても武蔵国の南部（東京都）の開拓は遅く、多摩川、入間川、利根川を利用しての本格的な水田の開発計画は鎌倉時代に入ってからであろう。

そして荏原郡などの台地の開発は水利の点からもっと遅れたであろう。

天正十八年（１５９０）徳川家康が関東入国（相模、武蔵、上総、下総、上野、下野の一部の７カ国）し、江戸を根拠地にした。

知行制の基本方針は、武蔵、相模などの江戸周辺は直轄地（蔵入地）と直属家臣団の知行地（旗本領）とし、上級の大名は（後）北条氏の旧支城に配置した。

江戸より２～３里の目黒六ヶ村は、一部旗本領のほか大部分は徳川氏の直轄領と寺領である。

六ヶ村は江戸ご府内ではない。しかし中目黒村と下目黒村の一部がそれぞれ中目黒町、下目黒町となり、江戸町奉行支配となった。（目黒不動の門前町が町となった）（別紙図　資⑥「朱引と墨引の違い」）

目黒六ヶ村の江戸末期の戸数は１０３８戸、人口５３１６人、水田１１６町、畑６８５町である。

六ヶ村別の地区概要は次の通りである。（別紙　図資⑦目黒六ヶ村と現在の主要道路と鉄道図」）

各村の数値データは明治五年東京府志料より引用する。（目黒区史　資料編）

時期的に見て江戸時代の様子は、統計が揃わない江戸時代の資料より確かである。

（１）　荏原郡麻布領三田村

○　天領

○　日本橋より１里３０町の行程

○　使用水系は見た用水（上記一、（２）⑤）

○　戸数１５戸、人口９４人

○　田・・・４反　　畑・・・１３町１反

○　物産

米　４石、大麦６０石、

その他穀類以外は（取れ高は略）、大豆、小豆、大角豆、黍、蕎麦、大根、甘薯、胡瓜、番南瓜、生茶

（２）荏原郡馬込領上目黒村

（別紙　図資⑧「上目黒の村絵図」）

○　天領より一時増上寺領になったがその後又天領となる。

○　日本橋より２里半

○　使用水系は目黒川及び三田用水

○　戸数２１８戸、人口１２０５人

○　田・・・２７町９反　　畑・・・２２５町９反

○　物産

米　五九〇石、　麦　八七〇石、　小麦　２００石、稗　一三〇石、

蕎麦１５０石
その他穀類以外は、（取れ高は略）大豆、小豆、栗、黍、　菜種、大根、茄子、筍、番南瓜、芋、越瓜、濁酒、

○　その他
村の北に幕府将軍遊猟の地「駒場野」（１５万坪）がある。

（３）荏原郡馬込領中目黒村
○　ほとんど増上寺領（芝）、一部祐天寺（碑文谷村）の拝領地
目黒不動の門前地が中目黒町となり、江戸町奉行の支配となる（延享２年　１７４５）
○　日本橋より２里
○　使用水系は三田用水
○　戸数１８２戸、人口５３８人
○　田・・・１５町９反　畑・・・６５町１反
○　物産
米　３１０石、　大麦　３６０石、　小麦　５石、　蕎麦　６石、　稗　６石
その他穀類以外（取れ高は略）　大豆、小豆、栗、黍、胡麻、菜種、大根、筍、芋、醤瓜、油、濁酒

（４）　荏原郡馬込領下目黒村
○　天領より寛永９年（１６３２）に増上寺領（芝）
目黒不動の門前地が下目黒町となり、江戸町奉行の支配地となる（延享２年　１７４５）
○　日本橋より２里８丁
○　使用水系は三田用水
○　戸数１７９戸、　人口８９１人
○　田・・・１６町　畑・・・６６町７反
○　物産
米　３２５石、　大麦　４７０石、　小麦　２０石、　稗　５５石、
蕎麦　８石、　粟　２４石
その他穀類以外（取れ高は略　大豆、小豆、黍、胡麻、独活（うど）、茄子、越瓜

（５）荏原郡馬込領碑文谷村
○　ほとんど神谷氏（旗本）の知行地で一部円融寺（碑文谷村）と増上寺領
○　日本橋より２里２２町
○　使用水系は立合川、天水

○　戸数１９６戸、　人口１１５８人
○　田・・・２０町３反　畑・・・１８７町８反
○　物産
米　１８９石、　大麦　７８９石、　小麦　８８石、　稗　１５９石、
蕎麦　２０石
その他穀類以外（取れ高は略）黍、栗、大豆、小豆、胡麻、菜種、芋、番南瓜、
大根　甜瓜、醤油、濁酒

（6）荏原郡世田谷領衾村
○　天領及び東光寺領（衾村）から寛永９年に増上寺領（芝）
○　日本橋より３里２０町
○　使用水系は呑川と湧き水
○　戸数２４８戸　人口１４３１人
○　田・・・３５町４反　畑・・・１２５町６反
○　物産
米　３９１石、　大麦　１２８４石、　小麦　１６７石、　稗　３１１石、
蕎麦　４３石、
その他穀類以外（取れ高は略）大豆、栗、干し大根、　越瓜、茄子、芋、甘藷、
筍、柿子、杉丸木、薪、濁酒

（右記については、別紙　資⑨「明治５年東京府志料より集計」で一覧とした。）

上目黒村（２７町・五九〇石）、中目黒村（１５町・３１０石）及び下目黒村（１６町・３２５石）の米の取れ高（物産）が田の面積に比べ多すぎると思える。
１反あたり２石となる。上田でも当時１石５斗である。このあたりは下田が多くこの数字は大きすぎる
よって、米の取れ高については畑での陸稲分があるのではないかと思われる。

目黒六ヶ村は荏原郡に属するが、三田村は麻布領に、目黒三村と碑文谷村は馬込領に、そして衾村は世田谷領に属するが、この領は領主（藩）ごとに定められた領地ではない。
関東独特の行政区画である。徳川氏が関東入国の折、北条氏の行政組織「領」を継承し、再編成した。武蔵国は、全二十二郡八十二領で、一郡内二～十四領である。
検地は領単位で行われている。（「領」編成と地域―近世前期を中心に　近世の地域編成と国家　関東近世史研究会　１９９７）

三、目黒地域の農業生産

（1）江戸周辺の農業生産

江戸周辺の農業は、水田と畑の割合は東郊に比べ西郊は水田率（水田÷（水田＋畑））が低い。因みに別紙の資⑩東京府志料（東京の地域研究（続）江波戸　昭より抜粋、集計）によると明治初期の目黒地域の水田率は１４パーセント、目黒区の属する荏原郡では２９パーセント。そして東郊の南葛飾郡では６３パーセントである。荏原郡でも多摩川の水を活用できた河口の蒲田あたりは７１パーセントと高い）

「第三　稲の日本史」（盛永　俊太郎）によると、水田率の全国平均は６６パーセントである。

明治初年の東京の米の収穫高は１３万４千８３３石、内目黒地域は１８０８石である。（全国では３１６２万石・・・改置府県概表　１８７２　大蔵省）

新田の大開発は、享保における大岡忠相による推進で、江戸周辺では武蔵国の見沼新田が知られる。（多摩郡４０カ村、新座郡４カ村、入間郡１９カ村、高麗郡１９カ村で総石高１万２６００石）

目黒地域での大開発はない。

畑作については、江戸の消費量の増大により、周辺近郊の農村は積極的である。畑での主要生産品目は大麦である。そして幕府も力を入れた野菜の生産である。

生産地は、大きく二つに分けられ、一つは西郊である武蔵野台地の豊島、多摩、荏原郡などの畑作主体地帯で、大根を主とする根菜類の出荷多い、もう一つは北効・東郊である葛西、埼玉、安達郡などの水田主体地帯で、葉菜の出荷が多い。

これは新鮮度がより求められ、水運により多量にそして生産品を傷めずに江戸まで運べることにある。

（2）目黒地域の水田

①　生産状況

目黒地域は、江戸の西郊の地域にあり、右記（1）で記述したように水田率は１４パーセントと低い。

この地区の地勢については、先に述べたように東から淀橋台、目黒台、荏原台の台地からなり、そして地域に通る河川は小さく必要水量の確保が難しい一方洪水による被害も起こり得た。（旱損、水損にさらされていた）

水は、河川、用水だけでなく天水にも頼っていた。

又、河川周辺の平坦部分が狭く、低地の川から台地への登り斜面となる所がほとんどで、水田への水の流れの上で広範囲の水田の形成が難しい。

その平坦部は湿田（後述）がほとんどで、苗代からの田植えではなく直播き田である（蒔田・摘田）所が多かったと考えられ、温暖の地でありながら反当りの収穫量を低くしていた。（注、蒔田：　籾種を苗代にまかないで、掻き田に直にまきつける田、

摘田：地を掻いて植える所を棒などにて穴をつき、その跡へも籾種をつみいれる）

湿田の関係で二毛作とはならなかった。（この地域は鷹場であったので冬場の狩猟時期に備えて二毛作をさせなかったとの説もある）

＊宝暦十三年三月　中目黒「村指出銘細帳」には次の記述がある。

一、旱損田場小目黒石川町中と之義者不足之場所旱続候得者、渇水仕候而損耗多難儀仕候、

一、水損田畑目黒川通年々大水之節田畑壱町余、或二三町宛損仕候、

宝暦１２年（１７６３）１２月衾村差出帳によると、

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 上田 | ２町７反 | 分米 | ２９、８石 | 反当り | １、１石 |
| 中田 | ５町８反 | 分米 | ５１、７石 | 反当り | ０、９石 |
| 下田 | ２２町９反 | 分米 | １３７、７石 | 反当り | ０、６石 |
| 合計 | ３１町４反 | 分米 | ２１９，２石 | 反当り | ０、７石 |

江戸時代普通は上田で石盛１．５石と言われる中で、上田で反当り１、１石は低いが、反当り平均収穫が０、７石は相当低い。

「近世稲作技術史」嵐嘉一によると享保～延享での全国水田の平均反収は１、２８石（天保７年も同じ）と記述がある。（安藤氏の説）

平均０、７石は天平時代（０、６７石）に比される反収である。

前述二、（６）荏原郡世田谷領衾村の項で、明治５年東京府志料の抜粋数字では田（水田）３５町４反、物産で米３９１石と転載したが、両所の数字比較では、面積ではおおよそ一致するが、石高に開きが１７２石と開きがある。

宝暦の時代から明治にかけて反当りの収穫が急速に増加したとの記録はない。

江戸時代の統計より明治に入っての調査の方が信頼性が高いと言われているが、明治初期の統計にはいくらか不正確な面があるとの見解もある。

弊見ではこの石高の違いは、東京府志料の数字には物産とあり、陸稲も入っているのではないかと思われる。

②　葛飾地域（現葛飾区）の農業

ここで江戸東郊の代表的な農業生産地として、江戸時代の葛西地区（江戸川以西の葛飾郡）にあった現葛飾区の状況を見ることにする。

江戸の東北端、日本橋より約二里半、区内を流れる河川は江戸川、中川、荒川、綾

瀬川、大場川と関東を代表する河川が通っている。沖積層の低地（高度４・２からマイナス１・６メートル）

当時葛西３万石と言われる中で、正保２年（１６４６）現葛飾区内の村３０カ村の村高計は１万９千７１５石である。（「葛飾区の歴史」　入本英太郎　出処は正保改定図に添付された武蔵田園簿（郷帳））

弘化３年（１８４６）には田地１５６２町、畑地６５０町を記録している。（葛飾区の歴史）

現在の葛飾区の全面積は３３、９０平方キロ、目黒区は１４、７０平方キロで目黒区の２、３倍の広さである。

両区（両地域）について別紙資⑨明治５年「東京府志料」のデータより比較してみたい。

水田の面積では、葛飾地域（葛飾区）が１３９５町対し目黒地域（目黒区）は１１６町で１２倍の広さ、畑の面積では、葛飾地域が６８６町に対し目黒地は６８５町でほぼ同じである。

水田率は葛飾地域６７パーセントに対し、目黒地域は１４パーセントである。これは右記江戸周辺の農業生産で記述したデータとあわせ見ても如何に目黒六ヶ村が畑に依存していたかが分かる。

水田と畑の合計の耕作地が葛飾区で２０７６町で同区の全面積に占める割合は６１パーセントに対し、目黒地区は８０２町で、同区に占める割合は５４パーセントである。

目黒地域のほうがいくらか低いが、これは推測であるが目黒、葛西とも御鷹場であるが、目黒六ヶ村は５３町の駒場の遊猟地を抱えていたことによるのではないかと考える。

米の生産高は葛飾区が１万７３７１石に対し目黒地域は１８０９石と９・６倍の生産高である。

これは葛飾地域が大小の河川からの安定した水量と平坦地（北から南に若干の勾配あり）による地勢から来るものである。

反当り収穫高で見ると、葛飾地域が１・２石に対し、目黒地域は１・６石となる。

宝暦十三年の衾村「衾村指出銘細帳」によっても平均で０・７石である。目黒地域の１８０９石の数字の中に畑での陸稲が入っているのではないかと推測する。

③　水田の特性

前述した目黒地区水田の湿田の問題について記述する。

水田の質的種類は、次の三つに分けられる。

○　湿田（地下水型）
　地下水位が高い。田面が地下水面下の場合もあり、その場合は灌漑水源の必要はない。
　地盤軟らかく農作業がしにくい。地力が不安定。

○　乾田（表面水型）
　非灌漑期は地下水位が低く、作土は乾燥し、裏作が可能。

○　半湿田（中間型）
　右記二型の中間的性質。冬季の地下水位が地表下０、５～１メートル程度。

弥生時代即ち初期の水田耕作は沖積平野の低湿地で開始された。これは用水や溜池の必要なく土地そのままで水田が出来、農耕具も木製の時代には、その面では農作業がしやすかった。しかし沖積地は自然河川の近くで洪水の損害があり、直播田である為収穫効率が良くない。又あまりに水位が高いと農耕しにくいといえる。

その後、収穫効率が良いそして農耕作業がやりやすい苗代、田植え方式が出来る乾田もしくは半乾田が開発されていった。
これには鉄製の農耕具の出現や牛馬による農耕が可能になったことがある。
山麓地帯の谷あい、更に大河川の中流平野、下流の三角州と開発が進んでいく。
これに合わせ河川の治水工事、用水の掘削、灌漑池の整備が、そして河口地では干拓工事がなされてきた。
武蔵国の水田開発は、中世の頃より関東平野の西側の山よりから始まった。
近世に入り、利根川の治水工事が行われ（東京湾に流入していた利根川を銚子で太平洋に流した）これにより江戸東郊の水田開発が進んだ。

江戸西郊は武蔵国の見沼新田や多摩川下流の六郷地域の水田が開発された。

目黒地域の水田地帯は小河川の周辺の沖積層の湿田である。ほんとど直播き田（摘田）である。大規模開発から見放されている。
田面がまったく水面下になる湿田ではなく、用水が必要な状況である。従って目黒川、立会川、呑川、三田用水更に天水が必要であった。
それでも旱害と逆に洪水の損害もあり、環境は良くない。秋の刈り入れ時に田の水を排水しなかった所もあるのではないかと思われる。（翌年の種まきの時の水枯れが心配のため）
乾田の構成は川・用水堀から斜面の上の田から下の田へ流していく事になる。（目黒

地域はそのような構成になる平坦部が極めて少ない。）このような構成になれば、余分な水や、刈り入れ前の水を田から排水することが出来、広範囲に水田を開発することが出来る。

目黒地域の乾田化は台地に本格的に用水を通さなければ出来ない。しかし自然河川の流れや、多摩川からの分水に限度があるのかこれがなされていない。明治に入ってからもなされていないので、相当困難な工事であるのであろう。

（3）目黒地域の畑作

①　江戸周辺の畑作

右記したように目黒地域は水田より畑作が主たる農業生産である。

江戸周辺の地域は、江戸の人口の増大により生鮮食料品である蔬菜（野菜）の生産基地になっていった。

しかしながらここで意識しなければならないのは、畑作でもっとも重要な作物は麦特に大麦である。一般百姓の主食は米でなくその外の穀物大麦、稗、粟などであるが特に大麦が主要な穀物である。（米はもとより畑にも年貢が必要であり、すべて米換算での年貢拠出である中で百姓にとって米は年貢用が主である。）

明治初年の東京の農産物は、米が１３万４８３３石で、大麦は１１万１９１２石である。

目黒地域では米１８０９石で、大麦は３８３３石で大麦の生産高の方が多い。（別紙資⑨明治５年の「東京府志料」）

さて、江戸の近郊農村といえば野菜の生産状況である。生鮮食料品である蔬菜は江戸の近郊でなければならない。特に葉菜類は収穫の翌日（もしくは当日夜）には市場に向け出荷される必要がある。

江戸周辺近郊で生産された蔬菜の種類は、ダイコン・ニンジン・ゴボウ・キュウリ・シロウリ・マクワウリ・カボチャ・ナス・葉類・ネギ・タケノコ等である。

豆類としては、大豆・小豆等、イモ類としては、芋・甘藷、その外採油作物としてナタネ・ゴマ等、果物はカキ・クリ等と多種多様である。

市場での各地域での競争は、特に蔬菜は近郊も更に江戸周辺に限られているとは言え、各地域の品目の特色を競い、又値の良い早期栽培、促成栽培の技術を発達させた。

江戸周辺から離れた関東各地では、農産加工品の名産を生んだ。（狭山茶、銚子・野田の醤油佐原・流山のみりん等）

②

目黒地域の蔬菜生産

目黒地区では江戸西郊の特色である根菜類の生産が多いが、東郊の代表である葛飾地区との比較で生産状況を記述する。

明治５年の「東京府志料」によると根菜の代表格であるダイコンは目黒地区が８２６５荷に対し、葛飾地区は２３１０荷の生産である。葉菜は目黒地区出荷はなし、葛飾地区は３８７７荷の生産である。この外に葛飾地域には、花菖蒲、芍薬、撫子、牡丹菊等の草花の栽培出荷がある。

又、地域特色としては、目黒地域ではタケノコが２２８５荷、葛飾は出荷なしである。

注、一荷は天秤棒の両端にかけて一人の肩に担える分量

当時目黒の筍として勇名を馳せた筍の起こりは、廻漕問屋の山路治郎兵衛勝孝が三田四国町の薩摩屋敷で孟宗竹をみかけ、寛政５年（１７５３）薩摩より種竹を取り寄せ、品川領戸越村で筍の栽培を始めたのが江戸周辺で最初と言われている。それが近村の目黒地域に伝わった。栽培の起こりはその外にも説があるがいずれも薩摩屋敷絡みである。

その後栽培方法に工夫があって味が良く、又寒中に初物として出荷したことが当たったのか「目黒の筍」のが江戸で勇名を馳せた。

もともとの起こりの品川地域で取れた筍も売値のの良い「目黒の筍」の名前で出荷したとのことである。（法政大学名誉教授　村上　直　氏の２００５年７月２３日講演「大江戸を支えた近郊農村」より）

次に市場である。目黒地域には市場は存在しなかった。渋谷、世田谷、目黒の地域は青山久保町、渋谷道玄坂町、渋谷広尾町、品川台町、麻布日カ窪、麻布六本木、永峯町、高輪台にあった公認の青物問屋で引き受けていたが、天保のころより、農民はこれを避けて青山百人町通りや青山教学院の門前で立ち売りと称して直接販売をするようになった。

問屋が奉行所に訴え、これに対抗して農民側も訴え、奉行所が立ち入り仲裁したが、その後ももめ続けた模様である。

市場への運搬手段は、天秤棒にカゴ、馬そして荷車である。

一方葛飾地域においては、野菜類や草花を江戸へは運ぶ為に主に水運が利用された事が目黒地域と異なるところである。（少量の物は天秤棒の利用もあった。）

昼間の内に準備された野菜や草花は夕方までに舟に積み、夜中の内に市場に運搬さ

れた。
出荷先は、千住、神田、本所四つ目、京橋の大根河岸である。
葉菜中心の葛飾地域では、鮮度保持の必要から生産品を早急に市場に送る必要があり、その為に収穫、運送は連動している。この為水運は夜中になる。幕末、夜中の江戸への河川通行の規制が強くなり、これを東葛西領の村村の代表が緩和を陳情している。

（4）目黒地域の農業生産の為の肥料

○　土質

宝暦十三年中目黒村指出銘細帳には「当村土地田畑共ニ、赤土交リニ而土生不宜ニ付、近村ヨリ養イ倍ニ相入候而モ隣村之毛生半ニも出来不仕、・・・」とあり、土質不良を述べているが、一方新編武蔵風土記稿の下目黒村での記述では「土性は野土にして五穀の生殖に宜しからす、只野菜蘿蔔の類土地に宜し、・・・・・」とある。

注、蘿蔔は、　すずしろ又はらふくと読みダイコンの別称。

○　肥料

当時の肥料の種類は、草木の灰、人糞尿、塵芥、廐肥（馬の肥）、刈敷（草、樹木の葉をそのまま敷き込む）、干葉、長わら、そして近世後期には干鰯（鰯又は鰊の干したもの）、油粕（菜種・大豆等の搾った残りかす）の利用が出てくる。
このうち、人糞尿（下肥）、干鰯、油粕か肥効性が高いが、費用高の縛りがある。

江戸時代もっとも有効と言われ、野菜の味も良いものになった下肥について以下記述する。
下肥は人糞尿のことで、これを貯蔵して腐熟させ、使用前に草木灰と水を入れて肥料として使用した。
江戸時代には、盛んに使われた。当初は汲み取り料は無料であったが、需要と供給の関係で有料となった。（八代将軍吉宗の頃よりと言われている。）

中目黒村の宝暦十三年の銘細帳によると次の記述がある。
「一、田畑肥之儀馬ふん、長藁、下肥等用ひ申候得共、近年下肥高直ニ御座候故夏草、干葉相用ひ申候」
下肥高で購入に支障をきたすことがあったようである。
下肥は江戸の武家屋敷や町家から購入するが、購入に当たっては特定の農家（地

主、村役人）が購入の有利な地位にいた。

一方、葛飾地域は下肥の利用は活発で葛西船と称された肥舟で江戸の河岸より葛西の各地へ運ばれた。

目黒地域の下肥の運搬は天秤棒に両端につるすか（一荷）か馬の背（二荷）であるが、葛飾地域は一艘で五十荷である。水運は生産物の運送と共に、肥料の運送うにも効率的に役割を果たした。

江戸（東京）周辺での下肥有料はその後明治・大正と続き、昭和の初め頃に無料となりそしてその後反対に汲み取り代を収入とすることが出来た。これは東京近郊農村に住民が増えた結果（農民ではなくその外の住民）、供給と需給のバランス逆転したものである。

下肥自体は、太平洋戦争後も使用されたが、次第に化学肥料と農薬に移行していった。

本論と外れるが、関連として下記する。

下肥は西洋では使用されない。近世西洋の都会では、人糞尿は下水道にその他の家庭の汚水共に流された。現在のように汚水処理をしない為、これが赤痢・疫痢の発生の原因となり、江戸よりかえって不衛生であったとの説がある。

（江戸の下水道には人糞尿は流さない。）

五、余録

（1）青木昆陽

青木文蔵号を昆陽。昆陽の墓「甘藷先生墓」は、現在目黒不動（滝泉寺）裏の墓域内にある。（明和六年（１７６９）七十二歳没）大岡越前守に見出され、吉宗将軍が起用した蘭学者。

さつまいも（甘藷）の栽培法を記した「蕃藷考」を著し、江戸周辺でさつまいもの栽培の指導普及に尽力した。

目黒区の現在の住民にとっては名高い仁。しかしながら当時目黒の住民との特別の係わりを記したものはない。

江戸近郊周辺のさつまいもの生産地は、別紙資⑨明治５年の「東京府志料」によれば、北豊島郡の１万３０荷が断然大きく、荏原郡は１１６５荷である。その中で目黒地域の生産は１４０荷であって、必ずしも目黒地域とさつまいもの関係が深いとはいえない。

（江戸周辺でもさつまいもは、地域によっては生産しない所もある）

（2）目黒のさんま

目黒で全国的にもっとも知られているのは「目黒のさんま」であろう。しかしこれは落語であって現実の話ではない。

ストーリーは「去る殿様がある日、遠乗りをした折、目黒でたまたまさんまを焼いている爺を見かけ、それを食したが、それが大変旨かった。お城に帰りその味が忘れられず、家来にさんまを料理させて食したが、家来が食あたりを心配して、さんまの油を抜き、小骨を抜いて蒸して差し出した為、旨くなく、殿様はさんまは目黒に限ると言われた」である。

これは、家光ほか吉宗等が放鷹の際立ち寄った「爺ヶ茶屋」（中目黒）からリアレンジした話ではないかと言われている。

〔おわりに〕

目黒区の地域（江戸時代の目黒六ヶ村）は政治史から見ると、幕府中央に影響を与えたような出来事や特記されるような顕著な事件は見出されない。

江戸周辺の地域としての目黒の特色は江戸との関係において、食を支える蔬菜の生産地、鷹場、それに目黒不動の観光地としての役割である。

今回のレポートは、農業生産の特色に限定し、地域住民が蔬菜に力を尽くした、いやむしろ尽くさざるを得なかった農業事情を記した。

有効な河川がなく、川や用水がない台地が多く、水田稲作が適した土地が割合で小さく、田は湿田で、旱害と水害の両方の危険があり、稲作だけに頼っていけない土地柄であった。

そこから台地での畑作に力を入れることは必然である。ここで江戸との近距離（2～2・5里）を生かして蔬菜の生産を活発化させた。しかし土質はよろしくなく有効な肥料が必要であった。当時肥料としては下肥（人糞尿）が最高であったが、江戸での値段の高騰と江戸よりの運搬が陸送（天秤棒又は馬）で葛西の水運に比べ不利である。下肥が不十分な為、干葉、わら等を利用している。（江戸の後期関西方面は盛んに干鰯、油粕が使われていたが、江戸周辺では少ない）

このような状況の下で、筍の栽培に力を入れ、味の良いものの栽培、寒中の出荷が「目黒の筍」として江戸および近郊で勇名を馳せ、目黒の百姓の存在感を示したと言えよう。

さて最後にこの江戸時代に蔬菜の生産地であった現在の目黒区の農業について記す。

平成十七年版関東農政局東京統計・情報センター発行「わたしのまちの農業」から抜粋すると次の通りである。

○　耕地面積　　３ヘクタール（０・０３１平方キロメートル　約３町）

（注）明治初　８０１町

○　耕地率　　０・２パーセント

○　田面積　　０

○　畑目面積　　３ヘクタール（０・０３１平方キロメートル　約３町）

（注）明治初　６８５町

○　専業農家数　４戸

○　兼業農家数　５戸

○　野菜収穫量　だいこん５トン、　こまつな３トン

江戸時代と比べようもない小さな規模になっている。明治以降徐々に近郊農村の役割が終わってきたといえる。

いくらか興味を引くのは、野菜の生産の一番にだいこんが江戸時代と同じく一番であることである。

農業生産についての論述は、生産量に関するデータが必要であるが、江戸時代は地域間の横並びの数字が整っておらず、地域間の数字は、明治初期の数字を使用した。

この地域は、江戸中期から明治初期までは生産量はそれほど変わっていないと考えられる。

それでもデータ間での矛盾があったので、それは文中で指摘し、推測の意見を記述した。

尚、飢饉については、本レポートでは触れなかった。飢饉の折の生産量がどうであったのか記述の要があったかもしれない。ただ飢饉は農業生産の問題よりも農政から論ず方が良いのではないかと思った。

農業史は、生産以外に農政（含年貢）、農民の生活など論述しなければならない分野は広い。

今回のレポートは農業の生産に限定して論述した。

以上

添付資料

1、参考資料・統計資料・文献一覧

2、統計表・図

資①　東京都全図・・・全国分県地図より

資②　山の手台地の構造（東京の自然史（貝塚爽平））・・・東京の地理がわかる事典（鈴木理生）より

資③　東京都心にある山（東京都　地学のガイド（貝塚爽平））・・・東京の地理がわかる事典（鈴木理生）より

資④　目黒区内遺跡分布図・・・目黒区史より

資⑤　目黒区地質断面図・・・目黒区史より
資⑥　朱引と墨引の違い・・・東京の地理がわかる事典
資⑦　目黒六ヶ村と現在の主要道路と鉄道図
資⑧　上目黒村の村絵図・・・目黒区史より
資⑨　明治５年東京府志料より集計・・・目黒区史資料編より
資⑩　明治５年東京府志料・・・東京の地域研究(続)（江波戸　昭）より

以上

# 参考史料・統計資料・文献一覧（江戸時代における目黒地域の農業生産）

## （1）参考史料・統計資料

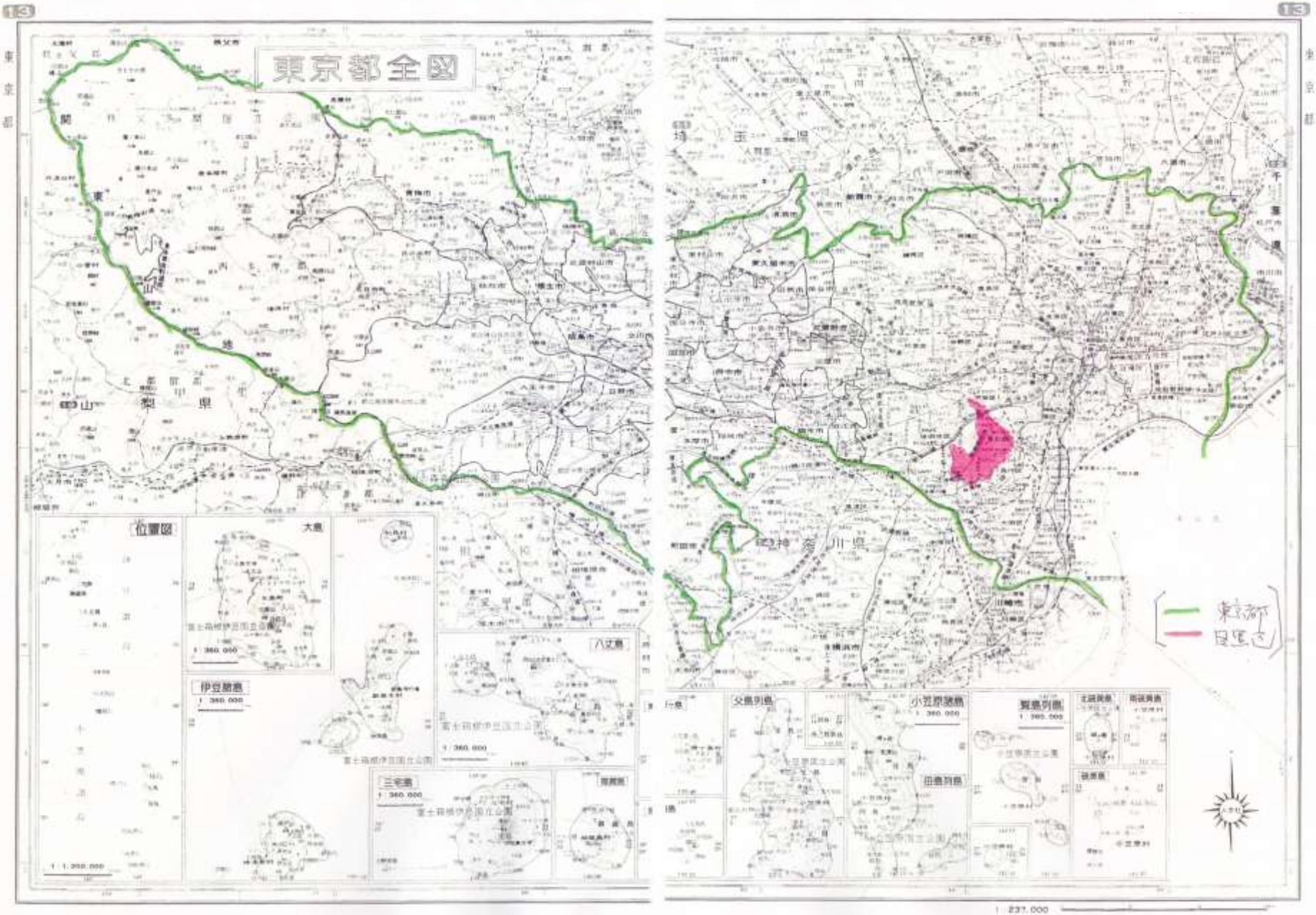
| | 史料・統計資料名 | 著　　者 | 成　立 | | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 目黒区史　資料編 | 東京都立大学学術研究会 | 1962 | | 東京都目黒区発行 |
| 2 | 東京府志料（明治5年） | 東京府 | 1873 | | 目黒区史　資料編（1962）記載より |
| 3 | 東京府志料（明治5年） | 東京府 | 1873 | | 東京の地域研究（続）（1997）記載より（資料添付） |
| 4 | 目黒区のホームページ | 東京都目黒区 | 2006 | | |
| 5 | 中目黒村「村指出銘細帳」 | 中目黒村 | 1764 | | 目黒区史　資料編（1962）記載より |
| 6 | 衾村「衾村指出銘細帳」 | 衾村 | 1764 | | 目黒区史　資料編（1962）記載より |
| 7 | わたしたちのまち農業 | 平成17年版関東農政局 | 2005 | | 平成17年版関東農政局東京統計・情報センター発行 |
| 8 | 葛飾区のホームページ | 東京都葛飾区 | 2006 | | |
| 9 | 新論　武蔵野国風土記稿巻46・47、巻51・57 | 江戸幕府官撰 | 1830 | | 目黒区史　資料編（1962）記載より |
| 10 | 改置府県概表 | 大蔵省 | 1872 | | |

## （2）参考文献

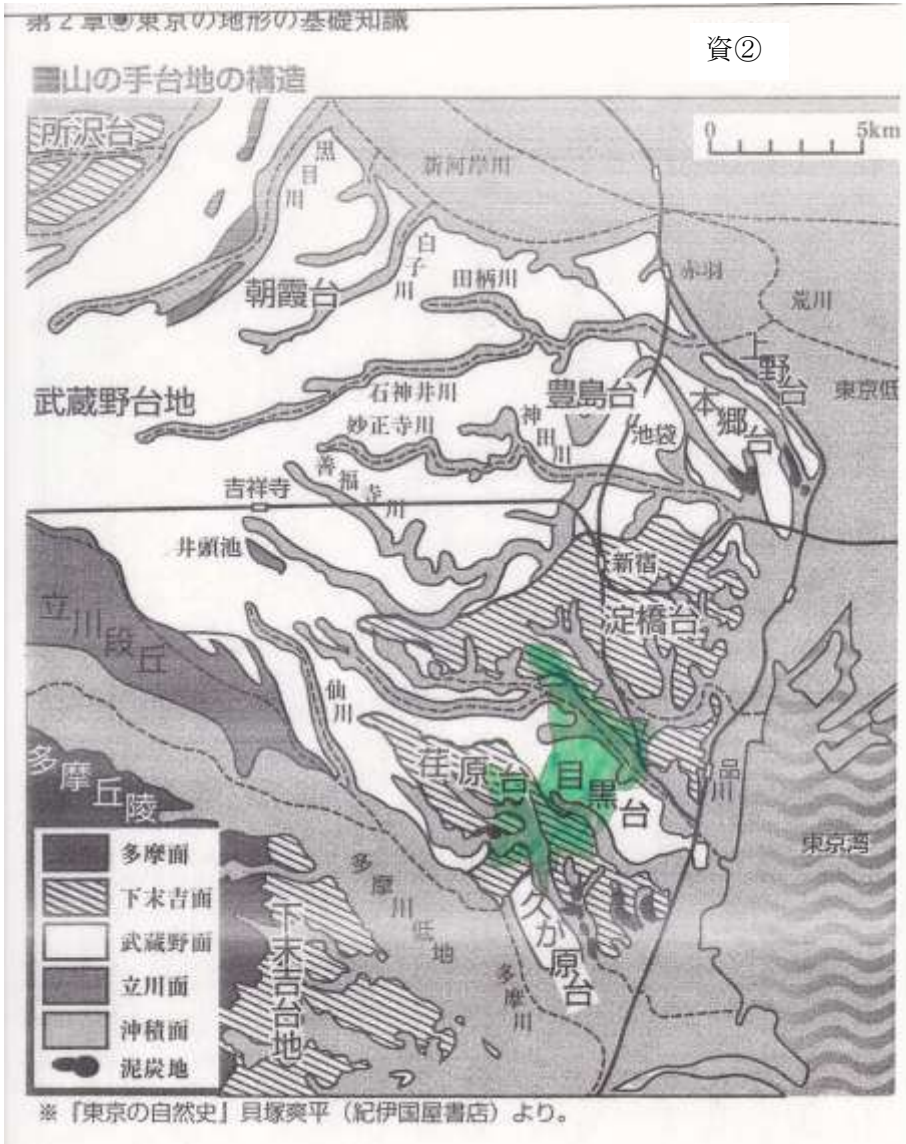
| | 著　書　名 | 著者（編集） | 発行年 | 発行所 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 目黒区史 | 東京都立大学学術研究会 | 1961 | 東京都目黒区 | |
| 2 | 目黒区の歴史（東京ふる里文庫4） | 目黒区郷土研究会 | 1978 | 名著出版 | |
| 3 | 郷土目黒　NO.17 「目黒の農家」 | 大須賀鉄蔵 | 1971 | 目黒区郷土研究会 | |
| 4 | 郷土目黒　NO.33 「碑文谷村の下肥考」 | 長澤英男 | 1989 | 目黒区郷土研究会 | |
| 5 | 郷土目黒　NO.7～8 「目黒のサンマ」 | 河原崎幹夫 | 1964 | 目黒区郷土研究会 | |
| 6 | 東京都の歴史 | 竹内　誠 | 1997 | 小川出版 | |
| 7 | 増補　葛飾区史　上巻 | 東京都葛飾区 | 1986 | | |
| 8 | 葛飾区の歴史 | 入本英太郎 | 1979 | 名著出版 | |
| 9 | 江戸・東京農業名所めぐり | JA東京中央会 | 2002 | 農村漁村文化協会 | |
| 10 | 日本史大事典6 | 平凡社 | | | |
| 11 | 「領」編成と地域―近世前期を中心に近世の地域編成と国家 | 関東近世史研究会 | 1997 | | |
| 12 | 第三　稲の日本史 | 盛永俊太郎 | 1958 | 農林協会 | |
| 13 | 米作り大革命 | 太田明 | 1961 | 中日新聞本社 | |
| 14 | 近世稲作技術史　上 | 嵐　嘉一 | 1975 | 農村漁村文化協会 | |
| 15 | 水田ものがたり | 山崎不二夫 | 1996 | 山崎農業研究所 | |
| 16 | 郷土目黒　NO.20 「昆陽先生といも盛衰記」 | 二瓶英二郎 | 1976 | 目黒区郷土研究会 | |
| 17 | 東京の地理がわかる事典 | 鈴木理生 | 1999 | 日本実業出版社 | |

以上

資①


東京都全図
東京都
日黒区
位置図
大島
伊豆諸島
八丈島
三宅島
父島列島
小笠原諸島
田島列島
鷲島列島
1:237,000

資②




※『東京の自然史』貝塚爽平（紀伊国屋書店）より。

緑色は目黒区

「東京の地理がわかる事典」（鈴木理生編著）より

資③

※『東京都 地学のガイド』貝塚爽平監修（コロナ社）より。

「東京の地理がわかる事典」（鈴木理生編著）

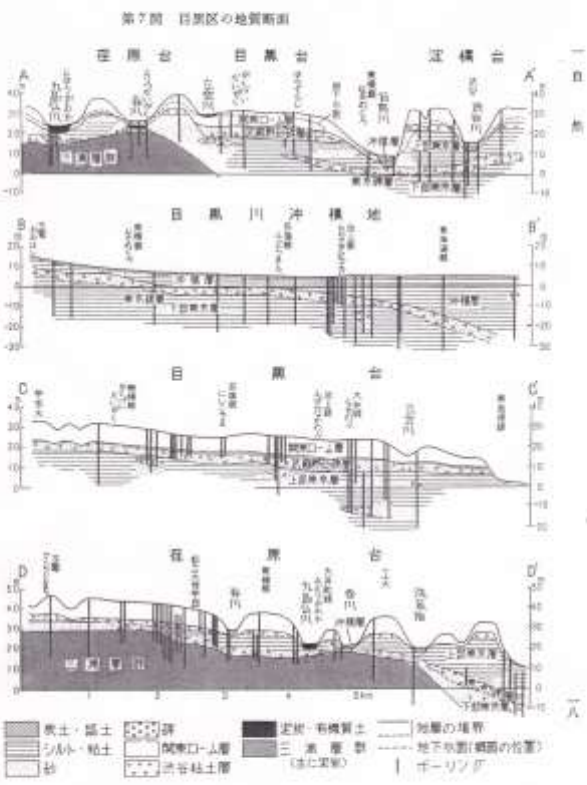
資④

「目黒区史」より

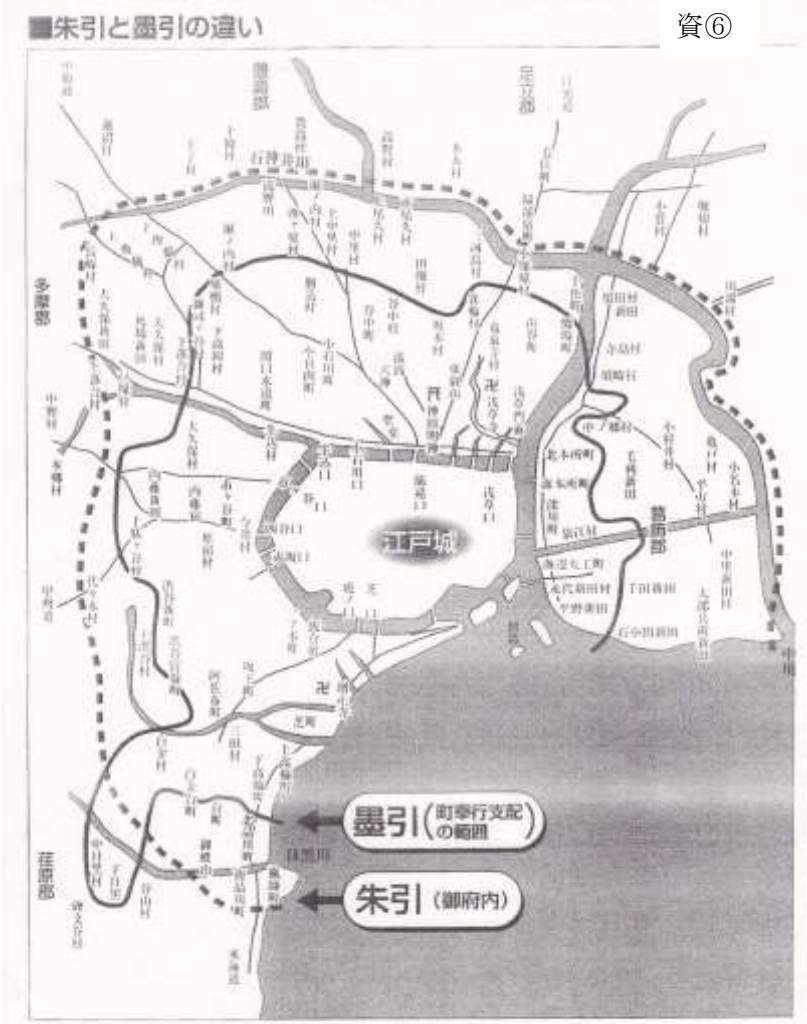
（地形・高低を見るために）

資⑤

「目黒区史」より

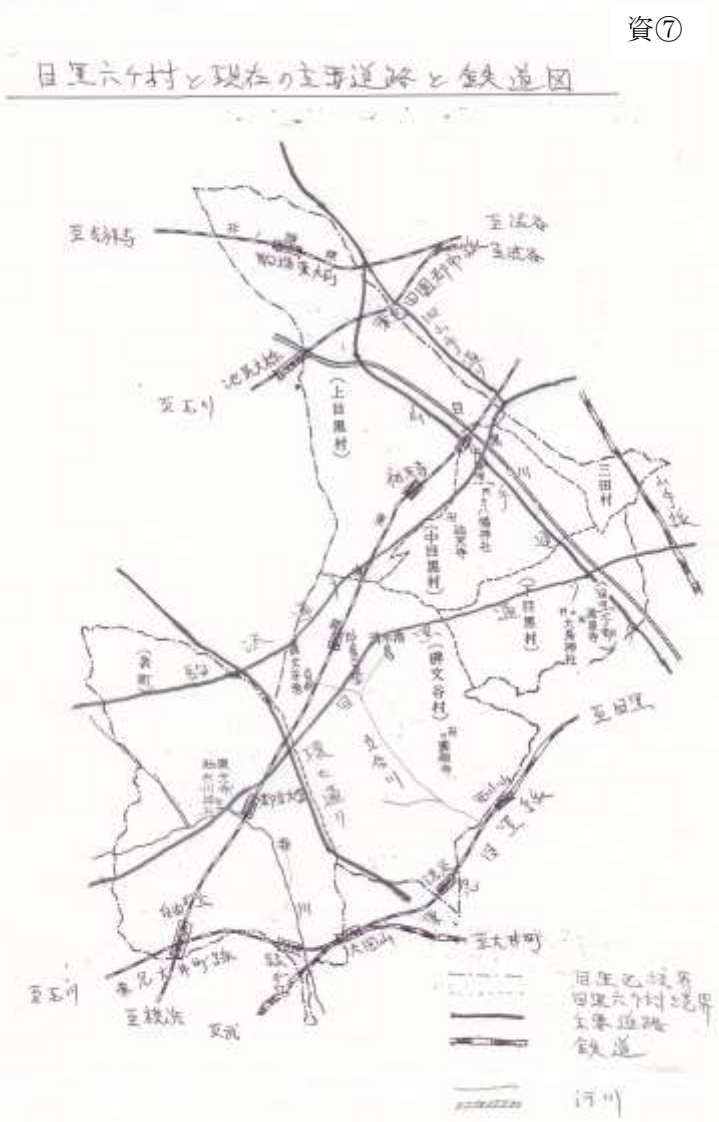


資⑥




「東京の地理がわかる事典」（鈴木理生編著）より

資⑦



上目黒村の村絵図（寛政年間）

「目黒区史」より　　資⑧

資⑨

# 明治5年東京府志料より集計

| | 戸数(戸) | 人口(人) | 面積(町) | | | 水田率(%) | 米の生産高(石) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 水田 | 畑 | 計 | | |
| 三田村 | 15 | 94 | 0.4 | 13.1 | 13.5 | 3.0 | 4 |
| 上目黒村 | 218 | 1,205 | 27.9 | 225.9 | 253.8 | 11.0 | 590 |
| 中目黒村 | 182 | 538 | 15.9 | 65.1 | 81.0 | 19.6 | 310 |
| 下目黒村 | 179 | 890 | 16.0 | 66.7 | 82.7 | 19.3 | 325 |
| 碑文谷村 | 196 | 1,158 | 20.3 | 187.8 | 208.1 | 9.8 | 189 |
| 衾村 | 248 | 1,431 | 35.4 | 125.6 | 161.0 | 22.0 | 391 |
| 合計 | 1,038 | 5,316 | 115.9 | 684.2 | 800.1 | 14.5 | 1,229 |

(注)米の生産高には陸稲の分も入っていると推定する。

(梅　一声)

資⑩

「東京府志料」（明治5年）
東京の地域研究（続）江波戸昭 著より

※1889（明治22）の市制・町村制施行後の15区および5郡82町村制に組みかえている
（目黒六ヶ村は目黒と碑衾の両村に組みかえ）





表I-2 耕地面積と水田率 (反, %)

| 郡区町村 | 田 | 畑 | 計 | 水田率 |
|---|---|---|---|---|
| 区部 | 1,269.914 | 2,510.104 | 3,780.018 | 33.6 |
| 芝 | 17.921 | 324.604 | 342.525 | 5.2 |
| 麻布 | — | 4.810 | 4.810 | 0.0 |
| 赤坂 | — | 45.516 | 45.516 | 0.0 |
| 四谷 | — | 109.405 | 109.405 | 0.0 |
| 牛込 | 121.902 | 410.914 | 532.816 | 22.9 |
| 小石川 | 32.604 | 175.407 | 208.011 | 15.7 |
| 本郷 | — | 231.215 | 231.215 | 0.0 |
| 下谷 | — | 37.208 | 37.208 | 0.0 |
| 浅草 | — | 221.003 | 221.003 | 0.0 |
| 本所 | 1,097.417 | 750.901 | 1,848.318 | 59.4 |
| 深川 | — | 198.911 | 198.911 | 0.0 |
| 荏原郡 | 18,266.012 | 44,570.801 | 62,836.813 | 29.1 |
| 品川 | 472.503 | 974.719 | 1,447.222 | 32.6 |
| 大森 | 1,043.520 | 772.211 | 1,815.801 | 57.5 |
| 羽田 | 1,253.121 | 1,686.319 | 2,939.510 | 42.6 |
| 大井 | 655.217 | 1,432.312 | 2,087.529 | 31.4 |
| 大崎 | 569.901 | 1,204.508 | 1,774.409 | 32.1 |
| 入新井 | 800.529 | 741.317 | 1,541.916 | 51.9 |
| 蒲田 | 1,667.313 | 680.819 | 2,348.202 | 71.0 |
| 六郷 | 966.324 | 1,295.527 | 2,261.921 | 42.7 |
| 矢口 | 1,589.522 | 1,419.903 | 3,009.425 | 52.8 |
| 調布 | 856.011 | 2,337.009 | 3,193.020 | 26.8 |
| 池上 | 1,674.907 | 2,624.822 | 4,299.729 | 39.0 |
| 馬込 | 567.907 | 2,137.402 | 2,705.309 | 26.6 |
| 荏原 | 275.409 | 3,063.213 | 3,338.622 | 9.0 |
| 目黒 | 606.724 | 3,709.927 | 4,316.721 | 14.1 |
| 碑衾 | 557.825 | 3,135.814 | 3,693.709 | 15.1 |
| 駒沢 | 493.607 | 4,104.009 | 4,597.616 | 10.7 |
| 世田谷 | 2,814.200 | 5,046.922 | 7,861.122 | 35.8 |
| 玉川 | 1,017.111 | 5,575.520 | 6,592.701 | 15.4 |
| 松沢 | 383.801 | 2,627.828 | 3,011.629 | 12.7 |
| 豊多摩郡 | 5,136.815 | 35,047.820 | 40,184.705 | 14.7 |
| 淀橋 | 167.920 | 1,339.801 | 1,507.727 | 11.1 |
| 中野 | 590.529 | 3,688.120 | 4,278.719 | 13.8 |
| 千駄谷 | 210.120 | 1,081.116 | 1,291.306 | 16.3 |
| 渋谷 | 91.024 | 950.105 | 1,041.129 | 8.7 |
| 大久保 | 72.915 | 879.225 | 952.210 | 7.7 |
| 戸塚 | 145.709 | 1,085.305 | 1,231.014 | 11.8 |
| 落合 | 324.806 | 1,298.207 | 1,623.013 | 20.0 |
| 代々幡 | 379.628 | 3,266.105 | 3,645.803 | 10.4 |
| 野方 | 698.403 | 4,912.406 | 5,610.809 | 12.4 |
| 和田堀内 | 627.512 | 2,703.502 | 3,331.014 | 18.8 |
| 杉並 | 718.703 | 4,166.511 | 4,885.214 | 14.7 |
| 井荻 | 592.409 | 3,751.303 | 4,343.712 | 13.6 |
| 高井戸 | 516.711 | 5,925.904 | 6,442.615 | 8.0 |
| 北豊島郡 | 17,312.705 | 52,440.919 | 69,753.624 | 24.8 |
| 板橋 | 384.805 | 2,236.922 | 2,621.727 | 14.7 |
| 南千住 | 1,776.600 | 784.229 | 2,560.829 | 69.3 |
| 岩淵 | 1,587.828 | 3,358.413 | 4,946.311 | 32.1 |
| 巣鴨 | 236.406 | 2,607.925 | 2,844.401 | 8.3 |
| 王子 | 1,928.102 | 2,036.125 | 3,964.227 | 48.6 |
| 滝野川 | 836.722 | 2,431.216 | 3,268.008 | 25.6 |
| 日暮里 | 668.118 | 990.006 | 1,658.124 | 40.3 |
| 中新井 | 277.402 | 1,552.119 | 1,829.521 | 15.2 |
| 志 | 2,090.722 | 5,468.814 | 7,559.606 | 27.7 |
| 高田 | 310.901 | 1,326.123 | 1,637.024 | 19.0 |
| 上練馬 | 377.307 | 2,085.408 | 2,462.715 | 15.3 |
| 赤塚 | 2,333.425 | 4,838.307 | 7,171.802 | 32.5 |
| 石神井 | 615.629 | 8,490.523 | 9,106.222 | 6.8 |
| 三河島 | 1,164.319 | 627.105 | 1,791.424 | 65.0 |
| 尾久 | 1,292.514 | 657.808 | 1,950.322 | 66.3 |
| 西巣鴨 | 153.226 | 1,262.624 | 1,415.920 | 10.8 |
| 上板橋 | 606.124 | 3,434.614 | 4,040.808 | 15.0 |
| 下練馬 | 444.423 | 5,164.628 | 5,609.121 | 7.9 |
| 長崎 | 177.225 | 1,081.503 | 1,258.728 | 14.1 |
| 大泉 | 50.207 | 2,005.807 | 2,056.014 | 2.4 |
| 南足立郡 | 21,879.823 | 12,347.316 | 34,227.209 | 63.9 |
| 千住 | 1,715.913 | 1,673.916 | 3,389.829 | 50.6 |
| 西新井 | 2,451.715 | 1,719.224 | 4,171.009 | 58.8 |
| 江北 | 2,633.606 | 2,886.714 | 5,520.320 | 47.7 |
| 舎人 | 2,433.507 | 526.110 | 2,959.617 | 82.2 |
| 渕江 | 2,878.728 | 937.627 | 3,816.425 | 75.4 |
| 梅島 | 2,038.902 | 1,005.519 | 3,044.421 | 67.0 |
| 綾瀬 | 982.611 | 743.613 | 1,726.224 | 56.9 |
| 東渕江 | 2,156.409 | 933.715 | 3,090.124 | 69.8 |
| 花畑 | 2,683.203 | 1,382.318 | 4,065.521 | 66.0 |
| 伊興 | 1,905.019 | 538.210 | 2,443.229 | 78.0 |
| 南葛飾郡 | 38,541.308 | 21,914.829 | 60,456.207 | 63.8 |
| 新宿 | 1,189.725 | 480.101 | 1,669.826 | 71.2 |
| 亀戸 | 951.323 | 905.425 | 1,856.818 | 51.2 |
| 大島 | 509.503 | 1,017.026 | 1,526.529 | 33.4 |
| 吾嬬 | 1,800.517 | 494.020 | 2,294.607 | 78.5 |
| 小松川 | 2,638.423 | 1,265.722 | 3,904.215 | 67.6 |
| 松江 | 3,623.126 | 1,141.226 | 4,764.422 | 76.0 |
| 瑞江 | 4,079.227 | 1,663.808 | 5,743.105 | 71.0 |
| 葛西 | 2,568.316 | 1,524.521 | 4,092.907 | 62.8 |
| 鹿本 | 1,656.406 | 991.112 | 2,647.518 | 62.6 |
| 寺島 | 937.412 | 366.306 | 1,303.718 | 71.9 |
| 本田 | 1,918.519 | 796.305 | 2,714.824 | 70.7 |
| 亀青 | 1,772.729 | 757.124 | 2,529.923 | 70.1 |
| 南綾瀬 | 1,967.825 | 1,094.418 | 3,062.313 | 64.3 |
| 篠崎 | 2,033.406 | 1,047.829 | 3,081.307 | 66.0 |
| 小岩 | 2,153.302 | 1,391.922 | 3,545.224 | 60.7 |
| 金町 | 1,389.109 | 978.903 | 2,368.012 | 58.7 |
| 水元 | 1,916.324 | 1,351.822 | 3,268.216 | 58.6 |
| 奥戸 | 3,794.916 | 1,355.811 | 5,150.727 | 73.7 |
| 隅田 | 772.417 | 246.820 | 1,019.307 | 75.8 |
| 砂 | 868.011 | 3,043.908 | 3,911.919 | 22.2 |
| 合計 | 102,406.717 | 168,831.929 | 271,238.716 | 37.8 |

## 表Ⅰ-3 主穀類

| | 米 | | 麦 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 水稲 | 陸稲 | 大麦 | 小麦 | アワ |
| 区部 | 1,511.6 | — | 398.6 | 24.7 | 40.0 |
| 芝 | 24.0 | | 75.0 | 6.0 | |
| 麻布 | | | | | |
| 赤坂 | | | | | |
| 四谷 | | | | | |
| 牛込 | 172.6 | | 105.0 | 11.2 | 40.0 |
| 小石川 | 25.7 | | 45.0 | 1.5 | |
| 本郷 | | | 22.4 | 4.5 | |
| 下谷 | | | | | |
| 浅草 | | | | | |
| 本所 | 1,289.3 | | 158.5 | 1.5 | |
| 深川 | | | 0.1 | | |
| 在原郡 | 20,767.6 | 1,050.5 | 29,722.6 | 4,681.5 | 2,742.4 |
| 品川 | 441.0 | | 719.4 | 38.0 | 16.0 |
| 大森 | 1,503.4 | | 470.6 | | |
| 羽田 | 1,805.2 | | 1,257.3 | 54.4 | 9.8 |
| 大井 | 334.2 | | 1,550.0 | | 1.5 |
| 大崎 | 991.0 | | 863.5 | 38.4 | 20.0 |
| 入新井 | 1,272.6 | 89.0 | 672.2 | 5.2 | 50.8 |
| 蒲田 | 2,454.5 | | 617.6 | 15.0 | 29.1 |
| 六郷 | 906.2 | | 1,046.0 | 134.1 | 90.0 |
| 矢口 | 3,457.5 | | 1,142.5 | 115.8 | 108.6 |
| 調布 | 823.2 | | 1,644.4 | 353.8 | 321.5 |
| 亀上 | 2,078.5 | | 2,295.4 | 357.4 | 170.5 |
| 馬込 | 508.0 | | 815.0 | 77.0 | 39.0 |
| 荏原 | 490.3 | 32.0 | 2,176.3 | 194.9 | 111.7 |
| 目黒 | 1,228.8 | | 1,760.1 | 235.0 | 40.0 |
| 碑衾 | 580.8 | | 2,073.0 | 255.0 | 192.5 |
| 駒沢 | 498.2 | 147.5 | 1,854.7 | 537.2 | 224.0 |
| 世田谷 | 534.3 | 236.0 | 2,623.0 | 1,019.0 | 451.0 |
| 玉川 | 1,485.0 | 426.0 | 4,854.6 | 984.3 | 813.9 |
| 松沢 | 374.9 | 149.0 | 1,387.0 | 275.0 | 52.5 |
| 豊多摩郡 | 5,413.2 | 184.3 | 17,824.4 | 3,666.4 | 294.5 |
| 淀橋 | 179.0 | | 976.5 | 50.0 | |
| 中野 | 614.3 | 12.0 | 2,404.0 | 723.5 | 15.0 |
| 千駄谷 | 288.5 | | 532.6 | 33.0 | |
| 渋谷 | 99.0 | | 635.9 | 48.0 | 3.5 |
| 大久保 | 88.2 | | 625.0 | 64.0 | |
| 戸塚 | 166.0 | 29.4 | 716.4 | 123.5 | |
| 落合 | 376.2 | | 1,745.0 | 114.0 | |
| 代々幡 | 330.2 | | 1,568.6 | 112.8 | |
| 野方 | 735.5 | 65.0 | 2,815.5 | 446.2 | 3.0 |
| 和田堀内 | 563.4 | | 1,484.9 | 295.4 | 166.1 |
| 杉並 | 738.0 | | 1,735.0 | 415.0 | 16.0 |
| 井荻 | 614.9 | | 2,170.0 | 661.1 | 5.0 |
| 高井戸 | 570.0 | 77.9 | 365.0 | 579.9 | 85.9 |
| 北豊島郡 | 22,482.2 | 943.7 | 35,825.3 | 5,498.9 | 205.9 |
| 板橋 | 495.1 | 10.0 | 2,680.1 | 106.7 | |
| 雑司ヶ谷 | 2,994.6 | 262.6 | 4.8 | 43.6 | |



(石)

| 雑穀類 | | | | 豆類 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ヒエ | キビ | ソバ | モロコシ | 大豆 | 小豆 | ササゲ |
| — | 19.0 | 0.7 | — | 17.8 | 5.5 | — |
| | 3.0 | | | 3.0 | | |
| | 8.0 | 0.7 | | 3.0 | | |
| | 2.0 | | | | 1.0 | |
| | 6.0 | | | | 3.0 | |
| | | | | 11.8 | 1.5 | |
| 5,856.5 | 1,857.7 | 1,438.2 | 36.3* | 3,555.0 | 750.5 | 31.0 |
| 12.5 | 10.0 | 18.9 | | 44.0 | 19.5 | |
| | | | | 50.0 | | |
| | | | | 593.0 | 109.2 | |
| | 6.0 | | | 160.9 | 20.0 | |
| 26.5 | 39.0 | 7.0 | | 51.0 | 16.5 | |
| | 12.0 | 20.0 | (130荷) | 148.9 | 13.5 | |
| | | | | 146.6 | 3.5 | |
| | | | | 237.2 | 17.8 | 1.8 |
| 8.5 | 62.3 | | | 387.2 | 8.8 | 13.8 |
| 531.0 | 62.0 | 117.0 | 5.0 | 433.2 | 40.7 | 5.4 |
| 164.7 | 70.8 | 153.3 | 10.0 | 275.3 | 46.6 | 0.2 |
| 5.5 | 9.0 | 23.0 | | 54.0 | 16.0 | 4.2 |
| 169.5 | 110.0 | 45.0 | | 81.0 | 38.8 | |
| 191.0 | 203.0 | 168.0 | | 35.0 | 34.5 | 0.6 |
| 470.0 | 93.1 | 63.0 | 5.6 | 67.5 | 55.3 | |
| 721.5 | 324.0 | 71.5 | | 66.0 | 58.1 | |
| 324.0 | 336.0 | 516.0 | | 165.0 | 124.5 | |
| 2,441.8 | 442.5 | 155.5 | 15.7 | 535.9 | 115.3 | 5.0 |
| 790.0 | 78.0 | 80.0 | | 25.7 | 19.9 | |
| 5,633.2 | 1,301.7 | 994.7 | — | 383.9 | 252.8 | 1.4 |
| 40.0 | 55.0 | 27.0 | | | 7.0 | 0.4 |
| 396.0 | 73.0 | 127.1 | | 11.6 | 32.1 | |
| 68.0 | 30.0 | 18.6 | | 5.0 | 20.0 | |
| 25.2 | 23.2 | 21.4 | | 63.0 | 6.1 | 1.0 |
| 25.0 | 103.0 | 6.5 | | | 3.2 | |
| 82.0 | 49.3 | 20.5 | | 2.0 | 8.0 | |
| 300.0 | 180.0 | 85.0 | | 26.0 | 21.0 | |
| 40.0 | 141.0 | 62.0 | | | 23.0 | |
| 850.0 | 245.3 | 151.0 | | 30.5 | 20.5 | |
| 1,046.0 | 181.9 | 102.8 | | 31.5 | 36.5 | |
| 1,365.0 | 195.0 | 210.0 | | 48.6 | 43.2 | |
| 1,138.0 | 25.0 | 124.5 | | 136.0 | 22.6 | |
| 358.0 | | 38.3 | | 29.7 | 9.6 | |
| 4,313.5 | 3,574.5 | 1,628.1 | 67.4* | 2,858.8 | 469.0 | 27.9 |
| 198.0 | 304.0 | 37.1 | | 72.0 | 21.0 | |
| | | | | 17.5 | | |

| | 米 | | 麦 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 水稲 | 陸稲 | 大麦 | 小麦 | アワ |
| 岩槻 | 2,390.0 | 24.0 | 3,228.3 | 299.1 | 35.0 |
| 葛飾 | 227.0 | 25.5 | 828.0 | 50.0 | |
| 王子 | 2,683.9 | 5.0 | 1,780.5 | 205.8 | |
| 滝野川 | 880.1 | | 1,277.3 | | |
| 日暮里 | 796.9 | | 20.0 | | |
| 中新井 | 245.1 | 65.0 | 1,182.3 | 248.1 | |
| 志 | 2,799.6 | | 4,908.8 | 455.0 | 2.5 |
| 高田 | 68.7 | | 510.0 | 170.3 | |
| 上練馬 | 328.6 | 43.0 | 3,828.1 | 763.0 | 2.4 |
| 赤塚 | 2,521.7 | | 3,552.1 | 421.6 | 40.0 |
| 石神井 | 669.1 | 133.2 | 1,878.2 | 883.3 | 126.0 |
| 三河島 | 1,579.5 | | 358.0 | | |
| 尾久 | 2,066.6 | | 470.0 | 198.0 | |
| 西葛西 | 200.0 | | 900.0 | 278.0 | |
| 上板橋 | 727.4 | 286.9 | 2,868.8 | 430.4 | |
| 下練馬 | 530.6 | 48.0 | 3,300.0 | 536.0 | |
| 長崎 | 212.4 | 5.5 | 1,500.0 | 60.0 | |
| 大泉 | 65.3 | 35.0 | 750.0 | 350.0 | 15.0 |
| 南足立郡 | 31,732.0 | — | 14,237.8 | 651.1 | 133.8 |
| 千住 | 2,184.7 | | 2,305.0 | 362.1 | |
| 西新井 | 3,399.3 | | 771.6 | | 54.3 |
| 江北 | 3,670.2 | | 2,229.9 | 60.0 | 33.0 |
| 舎人 | 3,253.5 | | 452.0 | | |
| 綱江 | 4,645.6 | | 2,024.2 | | 20.0 |
| 物島 | 3,155.7 | | 1,018.4 | | |
| 竪郷 | 1,419.1 | | 1,234.0 | 4.0 | 5.0 |
| 東綱江 | 3,295.6 | | 1,385.2 | | |
| 花畑 | 4,182.8 | | 1,972.1 | 5.0 | 21.5 |
| 伊興 | 2,525.5 | | 845.4 | | |
| 南葛飾郡 | 50,749.0 | — | 13,903.5 | 810.8 | 176.7 |
| 新宿 | 1,511.2 | | 466.2 | | 5.0 |
| 亀戸 | 1,520.0 | | 70.0 | | |
| 大島 | 907.4 | | 241.3 | 26.2 | |
| 吾嬬 | 1,852.7 | | 343.0 | | |
| 小松川 | 3,442.9 | | 843.0 | 80.6 | 9.0 |
| 松江 | 5,390.8 | | 633.5 | 60.0 | 13.5 |
| 瑞江 | 6,048.8 | | 365.8 | 44.3 | 3.2 |
| 葛西 | 3,697.4 | | 573.4 | 25.8 | |
| 鹿本 | 2,468.0 | | 984.6 | 238.7 | 44.8 |
| 寺島 | 704.4 | | 221.2 | | |
| 本田 | 2,215.4 | | 639.9 | | 8.5 |
| 亀青 | 1,946.7 | | 435.8 | 26.8 | |
| 南綾瀬 | 2,134.0 | | 220.6 | 44.0 | |
| 龍崎 | 3,078.2 | | 645.1 | 13.5 | 4.5 |
| 小岩 | 2,489.6 | | 2,096.8 | 79.9 | 18.0 |
| 金町 | 2,084.5 | | 1,085.4 | 52.7 | 2.0 |
| 水元 | 2,729.2 | | 1,613.3 | 30.2 | 13.2 |
| 奥戸 | 4,749.6 | | 1,798.4 | 79.1 | 55.0 |
| 隅田 | 891.5 | | 134.2 | | |
| 砂 | 886.7 | | 492.0 | 12.0 | |
| 合計 | 132,655.6 | 2,178.5 | 111,912.2 | 15,133.4 | 3,593.3 |

* 計に別単位（荷）を含まず。数値はすべて四捨五入して計算。



| 雑穀類 | | | | 豆類 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ヒエ | キビ | ソバ | モロコシ | 大豆 | 小豆 | ササゲ |
| 30.0 | 320.3 | 118.2 | 56.3 | 629.0 | 183.7 | 9.0 |
| 20.0 | 50.0 | 10.0 | | | 4.0 | |
| 25.6 | 287.8 | 18.5 | | 139.1 | 23.1 | 3.0 |
| | | | | 5.7 | 1.9 | |
| 136.0 | 66.6 | 86.5 | | 59.3 | 37.0 | |
| 142.0 | 437.6 | 78.0 | 11.1 | 304.1 | 85.9 | 3.9 |
| 85.0 | 103.0 | | | | 0.8 | |
| 818.0 | 300.8 | 208.8 | | 253.5 | 30.9 | |
| 320.2 | 302.7 | 76.7 | | 455.6 | 53.8 | 12.0 |
| 865.0 | 248.0 | 402.8 | | 455.6 | 17.3 | |
| | | | | 10.5 | 6.8 | |
| | 3.0 | | | 3.2 | | |
| 182.0 | 239.0 | 10.0 | (50荷) | 4.0 | 6.0 | |
| 796.7 | 573.7 | 95.6 | | 114.7 | 38.3 | |
| 615.0 | 218.0 | 160.0 | | 178.0 | 26.0 | |
| 50.0 | 80.0 | 6.0 | | 7.0 | 2.5 | |
| 200.0 | 40.0 | 120.0 | | 150.0 | | |
| 3.0 | 70.5 | — | 50.0 | 1,344.0 | 342.8 | — |
| | | | | 329.2 | 131.8 | |
| | | | | 171.4 | 27.2 | |
| | 35.5 | | | 169.0 | 33.0 | |
| | | | | 75.0 | 20.0 | |
| | 10.0 | | 30.0 | 116.0 | 19.0 | |
| | | | | 41.0 | 19.7 | |
| | 10.0 | | | 144.0 | 12.0 | |
| 3.0 | | | | 145.8 | 48.4 | |
| | 15.0 | | 20.0 | 152.6 | 31.7 | |
| — | 109.8 | — | 502.6 | 1,402.4 | 280.5 | 1.7 |
| | 10.0 | | | 50.0 | 10.0 | |
| | | | | 8.0 | | |
| | | | | 21.5 | 5.3 | 0.7 |
| | | | | 6.5 | 2.1 | |
| | 8.0 | | 58.2 | 89.8 | 15.1 | |
| | | | 27.0 | 91.0 | 23.6 | |
| | 1.0 | | 18.6 | 56.4 | 13.1 | |
| | | | 5.8 | 12.6 | 5.8 | |
| | 3.3 | | 152.7 | 147.7 | 22.5 | |
| | | | | 8.0 | 3.5 | |
| | | | | 37.7 | 16.0 | |
| | | | | 44.0 | 17.8 | |
| | | | | 55.5 | 18.9 | |
| | | | 6.5 | 16.6 | 7.9 | |
| | 1.5 | | 37.8 | 134.0 | 17.0 | |
| | 3.0 | | 15.0 | 369.0 | 31.6 | |
| | 46.2 | | 18.0 | 110.8 | 24.4 | |
| | 33.0 | | 163.0 | 122.0 | 40.5 | |
| | | | | 10.7 | 2.2 | |
| | 3.8 | | | 10.6 | 3.2 | 1.0 |
| 15,806.2 | 6,933.2 | 4,061.7 | 692.6* | 9,561.9 | 2,101.1 | 62.0 |

表Ⅰ-4 野菜類

| | ダイコン | ニンジン | ゴボウ | キュウリ | シロウリ・ウリ | マクワウリ | 他瓜類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区部 | 450 | — | — | 253* | 25* | — | 290 |
| 芝 | | | | | | | |
| 麻布 | | | | | | | |
| 赤坂 | | | | | | | |
| 四谷 | | | | | | | |
| 牛込 | 120 | | | | 15 | | |
| 小石川 | | | | | | | |
| 本郷 | | | | | | | |
| 下谷 | | | | | | | |
| 浅草 | | | | | | | |
| 本所 | 330 | | | 253 | 10 | | 冬瓜 290 |
| | | | | | 800輪 | | |
| 深川 | | | | 2輪 | | | |
| 在原郡 | 30,940 | 4,362 | 887 | 1,479 | 3,407 | 896 | 70 |
| 品川 | 2,010 | 530 | | 140 | 160 | | |
| 大森 | | | | 70 | | | |
| 羽田 | | | | | | | |
| 大井 | 1,000 | 1,000 | | 165 | 1,030 | | |
| 大崎 | 1,620 | 145 | | 165 | 30 | | |
| 入新井 | 1,600 | 750 | | 300 | | | |
| 蒲田 | 75 | | | 72 | | | 冬瓜 50 |
| 六郷 | | | 110 | | | | |
| 矢口 | | | 677 | 55 | | | |
| 調布 | 800 | 50 | 70 | | 120 | 100 | |
| 亀上 | 4,230 | 337 | | 67 | 416 | | |
| 馬込 | 1,300 | 180 | | 230 | | | |
| 荏原 | 7,070 | 1,295 | | 240 | 1,320 | | |
| 目黒 | 8,765 | | | 35 | 200 | 29 | 瓢瓜 30 |
| 碑衾 | 500 | | | | 125 | 93 | |
| | 干 1,900 | | | | | | |
| 駒沢 | 225 | | | | 6 | 110 | |
| | 干 78 | | | | | | |
| 世田谷 | 705 | | 30 | | | | |
| | 干 60 | | | | | | |
| 玉川 | 180 | 75 | | | | 573 | |
| | 干 842 | | | | | | |
| 松沢 | 900 | | | | | | |
| 豊多摩郡 | | 686 | 480 | 260 | 2,561 | 190 | |
| 贄場 | 700 | | | 130 | | | |
| 中野 | 4,800 | 125 | 150 | | 1,650 | | |
| | 干 350 | | | | | | |
| 千駄谷 | 2,550 | 30 | | 110 | | | |
| | 15,000本 | | | | | | |
| 熊谷 | 1,280 | 79 | 6 | 20 | 4 | | |
| 大久保 | 2,100 | | | | | | |
| 戸塚 | 1,373 | 25 | | | 50 | | |
| | 20,500本 | | | | | | |
| | 干 30,000本 | | | | | | |



(前)

| カボチャ | ナス | 菜類 | ネギ | タケノコ | その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | | | | | |
| 12 | 50 | | | | ミョウガ 290<br>ミョウガ子 610 |
| | 336 | 菜 650 | | | |
| | 550輪 | | | | |
| | 3輪 | 冬菜 16把 | 17把 | | |
| 7,386 | 14,373 | | 1,220 | 8,366 | |
| 760 | 2,550 | 冬菜1,220 | | 286 | |
| | 120 | 菜 300 | | | ソラマメ 21石 |
| | 300 | | | | |
| 700 | 670 | | | 150 | |
| 670 | 1,070 | 冬菜 340 | | 330 | ウド 15 |
| 8 | 1,330 | 菜 1,200、タカナ 20<br>冬菜 150、トウナ 20 | 1,000 | | ホウレンソウ 500<br>シソ 60、シュンギク 230<br>ミツバ 450 |
| | 116 | 菜 2、冬菜 20 | | | ソラマメ 2.5石<br>ショウガ 100、フキ 11 |
| 35 | | | | | ソラマメ 173.9石 |
| 20 | 125 | | | 25 | ソラマメ 771.7石、15 |
| 140 | 400 | | | | ソラマメ 5石、15 |
| 1,040 | 1,745 | 菜 390 | | 30 | |
| 230 | 1,500 | 菜 330 | | | |
| 2,150 | 1,770 | 冬菜500 | 220 | 3,765 | ショウガ 152 |
| 1,010 | 820 | | | 700 | ウド 50 |
| 63 | 300 | | | 1,585 | |
| 40 | 227 | | | 545 | |
| 60 | 410 | | | 407 | ウド 130 |
| 240 | 532 | | | 395 | |
| | 330 | | | 128 | ウド 23 |
| 3,363 | 11,693 | 125 | 15 | | |
| 450 | 400 | | | | |
| 550 | 3,410 | | | 230 | フキ 30 |
| 430 | 470 | 菜 100 | 15 | | シソ 30、ハショウガ 15 |
| 143 | 263 | 菜 25 | | | |
| 530 | 560 | | | 30 | トウガラシ 11 |
| 225 | 1,050 | | | 15 | トウガラシ 20 |

| | ダイコン | ニンジン | ゴボウ | キュウリ | シロウリ・ウリ | マクワウリ | 他瓜類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高倉 | 630<br>千 290,000本 | 90 | 50 | | 350 | | |
| 代々幡 | 400 | 20 | 15 | | 50 | | |
| 野方 | 2,760<br>115,000本<br>千 3,740 | 247 | 90 | | 87 | | |
| 和田堀内 | 1,615 | 7 | 6 | | 10 | 30 | |
| 杉並 | 1,400<br>千 1,690 | 23 | 93 | | 150 | 10 | |
| 井荻 | 2,070 | 40 | 40 | | 10 | 150 | |
| 高井戸 | 200<br>千 365 | | | 30 | | | |
| 北豊島郡 | | 6,876* | 6,690 | | 715* | 815 | |
| 板橋 | 770,000本 | 640 | 112 | | 100 | | |
| 南千住 | 50<br>342,686本 | | | | 15,000個 | | 冬瓜 10 |
| 岩淵 | 1,020,000本 | 315 | 250 | | 150 | | |
| 巣鴨 | 250 | 12石 | 2,500 | | 100 | | |
| 王子 | 891,000本 | 330<br>20,000本 | 534 | | 200 | | |
| 飛鳥川 | 5,900 | | | | | | |
| 日暮里 | | | | | | | |
| 中新井 | 540<br>千 1,030 | 444 | 266 | | | | |
| 志 | 2,301,000本 | 705<br>34,020本<br>4石 | 266 | | | | |
| 高田 | 2,910 | | | | | | |
| 上練馬 | 1,100<br>千 2,000 | 150 | 650 | | | | |
| 赤塚 | 1,126,000本 | 681 | 216 | | | 815 | |
| 石神井 | 955<br>千 192 | | 130 | | | | |
| 三河島 | 200 | | | | | | |
| 尾久 | 10,000本 | | | | | | |
| 西巣鴨 | 2,500<br>78,000本<br>千 1,300 | 60 | 50 | | 105 | | |
| 上板橋 | 2,390,629本 | 3,346 | 1,141 | | | | |
| 下練馬 | 500<br>千 2,500 | 165 | 500 | | | | |
| 長崎 | 500,000本 | 40 | 30 | | 60 | | |
| 大泉 | 160 | | 15 | | | | |
| 南足立郡 | 777 | | 1,282* | 850 | 1,519 | | |
| 千住 | 292 | | | | | | 冬瓜 133 |
| 西新井 | | | 40<br>1,450把 | | | | |
| 江北 | | | 832<br>2,950把 | | | | |



| カボチャ | ナス | 菜類 | ネギ | タケノコ | その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 360 | 1,300 | | | | インゲン 30 |
| 150 | 200 | | | 250 | |
| 325 | 1,755 | | | 50 | |
| 20 | 1,115 | | | 278 | |
| 180 | 430 | | | 65 | ウド 22, エンドウ 50 |
| | 860 | | | 30 | ウド 282<br>ウド 220 |
| 327 | 22,373 | | 3,488 | | |
| 40 | 1,600 | | | | カブ 30, ラッキョウ 50<br>ショウガ 10 |
| 27 | 67 | 菜6,000把, ツケナ1,200<br>20,577把 | 8 | | ソバ 25,000把 |
| | 720 | | | | ソラマメ 140<br>ショウガ 280, ミツバ 110<br>ラッキョウ 130 |
| | 1,600 | | | | トウガラシ 700<br>ラッキョウ 1,097籠 |
| | 1,233 | | | | ソラマメ 10石 |
| | | | 2,400 | | |
| | | 菜 240, ツケナ 50 | 1,080 | | ショウガ 10,450把 |
| | 1,040 | | | | |
| 40 | 1,945 | | | | トウモロコシ 200<br>ラッキョウ 180樽<br>ショウガ 4,490貫 |
| 30 | 1,571 | | | | |
| | 950 | | | | |
| | 1,021 | | | | |
| | 485 | | | | ウド 37 |
| | | ツケナ 800 | | | |
| | | ツケナ 550 | | | タワイ 150 |
| 200 | 2,390 | | | 50束<br>事 400 | |
| | 6,375 | | | | |
| | 950 | | | | |
| | 1,200 | | | | |
| | 26 | | | | |
| 2,050* | 5,369* | | | | |
| 600 | 919 | | 110 | | |
| | | | | | セリ 150, 21,780把<br>ミツバ 34, 1,800把<br>フキ 40, 2,000把<br>ソラマメ 60, 12石, 50俵 |
| 5,000個 | | 菜 50 | | | ハス 5, セリ 320, 400把<br>ミツバ 300, 18,400把<br>フキ 120, 5000把, 枝豆<br>50, インゲン 12,000把,<br>ソラマメ 280, 62石,<br>蕎麦 22,000把 |

| | ダイコン | ニンジン | ゴボウ | キュウリ | シロウリ・ウリ | マクワウリ | 他瓜類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 赤人 | | | | | | | |
| 洲江 | | | | | | | 菜瓜 160 |
| 梅島 | 120 | | 50 | | 221 | | |
| 綾瀬 | 195 | | | 30 | 490 | | |
| 東洲江 | 150 | | 310 | 180 | 80 | | 菜瓜 160 |
| 花畑 | 20 | | 50 | 640 | 728 | | 菜瓜 440 |
| 伊興 | | | | | | | |
| 南葛飾郡 | 3,447* | 3 | 200* | | | | |
| 新宿 | 200 | | 20 | 200 | | | |
| 亀戸 | 300 | | | 3,000籠 | 5,000籠 | | 青瓜 100籠<br>冬瓜 1,000 |
| 大島 | 160<br>950把 | | | 36,644籠 | | | 冬瓜 130 |
| 吾嬬 | 321 | | | 380 | | | 冬瓜 700 |
| 小松川 | 150 | | | 50<br>1,200籠 | | 2,000籠 | 冬瓜 8,500籠 |
| 松江 | | | | 25,300籠 | | 7,500籠 | |
| 堀江 | 20,000本 | | | 19,720籠 | | 9,130籠 | 冬瓜 12,100籠 |
| 葛西 | | | | | | | |
| 鹿本 | | | | 6,500籠 | | 4,600籠 | 冬瓜 4,050籠 |
| 寺島 | 125 | | | 50 | | | |
| 本田 | 575 | | | 355 | | | |
| 亀青 | 30 | | 50 | 90 | | | |
| 南綾瀬 | 760 | | 80 | 430 | | | |
| 篠崎 | | | | 13,000籠 | | 6,000籠 | 冬瓜 3,000籠 |
| 小岩 | 15 | | | 1,070 | | | |
| 金町 | 50 | | 5,000束 | 3,400籠 | | | 冬瓜 20 |
| 水元 | | | 50 | 30 | | 1,435 | |
| 奥戸 | 680 | 3 | | 971 | | | |
| 隅田 | 81 | | | 253 | | | |
| 砂 | | | | 88,916籠 | 9,312籠 | | |

単位は特記ない限り荷。＊は荷のみの集計。



| ロボチャ | ナス | 菜類 | ネギ | タケノコ | その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | ハス340 |
| 200 | 660 | | 360 | | |
| 160 | 480<br>45,000籠 | ツケナ 360 | 470 | | ハス 800把、ミツバ 60<br>タワイ 8石、フキ 115<br>ソラマメ 30 |
| 70 | 800 | 冬菜 75、ツケナ 1,457<br>3,500把 | 290 | | インゲン 20 |
| 280 | 620 | 冬菜 280、ツケナ 620 | 950 | | ミツバ 470、フキ 100<br>インゲン 200 |
| 540 | 1,890 | ツケナ 1,340 | 985 | | ミツバ 25<br>ハス 450把<br>フキ 2,500把 |
| 50 | 1,000 | | 2,000 | | ソラマメ 50 |
| | 5,000籠 | ツケナ 25,000束<br>京菜 500 | 200 | | 枝豆 500 |
| 10<br>4,500籠 | 15,247籠 | 菜 500把、京菜 2,180<br>冬菜 70、41,750把<br>ツケナ 75、21,943把 | 120<br>138,077把 | | インゲン 6,300把<br>トウガラシ 24,000束<br>枝豆 70、1,500把 |
| 10 | 683 | 秋菜 50、冬菜 737 | | | ナタマメ 30、枝豆 106 |
| 30 | 200<br>39,000籠 | 菜 300、冬菜 400<br>秋菜 660把 8,000把 | | | インゲン 300籠 |
| | 55,500籠 | 冬菜 300 | | | インゲン 60,000束<br>シソ 50,000束 |
| 14,900籠 | 55,700籠 | 冬菜 5,000把 | | | インゲン 146,500把 |
| 10,000籠 | 19,000籠 | | | | インゲン 12,000把 |
| | 300 | 冬菜 200 | | | |
| 140 | 700 | 秋菜 450、冬菜 447 | | | 枝豆 20 |
| 40 | 370 | 冬菜 20、ツケナ 80 | 230 | | ミツバ 50 |
| 145 | 900 | 秋菜 2,870、ツミナ 10<br>冬菜 420 | 160 | | シュンギク 10、シソ 10<br>コカブ 100、ミツバ 10<br>インゲン 290、枝豆 150 |
| 11,000籠 | 25,500籠 | | | | インゲン 96,500把 |
| 880 | 2,200 | 菜 1,250 | 900 | | インゲン 545 |
| 150<br>90,000籠 | 150<br>1,540籠 | | 420<br>76,000束 | | インゲン 20、ソラマメ<br>12石、エンドウ 20石 |
| 610 | 310 | 菜 150 | 1,450 | | ミツバ 800、フキ 60<br>ソラマメ 100 |
| 430 | 2,300 | 菜 600、ツケナ 400<br>冬菜 100、牛菜 5 | 250 | | ミツバ 20、エンドウ 3<br>ソラマメ 5<br>インゲン 20、1,100把 |
| | 225 | 秋菜 50 | 25 | | 枝豆 36 |
| 3,710籠<br>415籠 | 79,963籠 | 冬菜 60,415把<br>京菜 286<br>ツケナ 27,224把<br>ツミナ 300籠 | 209,230把 | | ホウレンソウ 3,000把<br>ソラマメ 10、7石<br>藤豆 500把 |

## 表1-5 イモ類・果樹その他

| | イモ類（荷） | | 採油作物（石） | | | 茶(貫) | 蚕 糸 | ワタ（貫） | アイ（貫） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 芋 | 甘 藷 | ナタネ | ゴ マ | エゴマ | | | | |
| 区 部 | 20 | 20 | 10.5 | 0.6 | — | 1,110 | | — | — |
| 芝 | | | | | | 410 | 桑 30駄 | | |
| 麻 布 | | | | | | | | | |
| 赤 坂 | | | | | | 650 | 蚕 210駄 | | |
| 四 谷 | | | | | | | | | |
| 牛 込 | 20 | 20 | | 0.6 | | | | | |
| 小石川 | | | 10.5 | | | 50 | 桑 600 | | |
| 本 郷 | | | | | | | | | |
| 下 谷 | | | | | | | | | |
| 浅 草 | | | | | | | | | |
| 本 所 | | | | | | | | | |
| 深 川 | | | | | | | | | |
| 在 原 郡 | 8,801* | 1,165 | 829.1 | 96.6 | 137.4 | 570 | | 97.5 | 1,109 |
| 品 川 | 214 | | 26.0 | 2.4 | | | | | |
| 大 森 | | | | | | | | | |
| 羽 田 | 60俵 | | 80.6 | | | | | | |
| 大 井 | 1,000 | | 32.0 | | | | | | |
| 大 崎 | 150 | | 7.3 | 5.3 | | | | | |
| 入新井 | 550 | | 19.8 | 1.8 | | | | | |
| 蒲 田 | 50 | | 13.0 | | | | | | |
| 六 郷 | 200 | | 134.0 | | | | | 60 | |
| | 245俵 | | | | | | | | |
| 矢 口 | 740 | | 201.2 | | | | | 7.5 | |
| | 252俵 | | | | | | | | |
| 調 布 | 100 | | 85.4 | 8.4 | | | | 30 | |
| | 170俵 | | | | | | | | |
| 池 上 | 647 | | 19.4 | 17.4 | | | | | |
| | 40俵 | | | | | | | | |
| 馬 込 | 390 | | 11.8 | 3.5 | | | | | |
| 荏 原 | 1,428 | | 11.5 | 8.6 | | | | | |
| 目 黒 | 750 | 10 | 28.0 | 10.0 | | 570 | | | |
| 碑 衾 | 245 | 130 | 10.0 | 3.9 | | | | | |
| 駒 沢 | 313 | 67 | 14.0 | 7.8 | 28.0 | | | | |
| 世田谷 | 570 | 390 | 27.0 | | | | | | 20 |
| 玉 川 | 1,024 | 108 | 81.6 | 17.4 | 91.4 | | | | |
| 松 沢 | 430 | 460 | 30.5 | 10.1 | 20.0 | | | | 1,070 |
| 豊多摩郡 | 6,491 | 997* | 194.4 | 23.7 | 102.8 | 1,577 | | — | 14,269 |
| 足 立 | 300 | | 5.0 | | | | | | |
| 中 野 | 1,015 | | 2.5 | 1.8 | | 80 | | | 320 |
| 千駄谷 | 120 | | 5.0 | | | 833 | 桑 728貫 | | 300 |
| 渋 谷 | 240 | 2,180貫 | 3.6 | 1.3 | 1.2 | 28 | | | 75 |
| 大久保 | 78 | | | | | | | | |
| 戸 塚 | 196 | | 1.7 | 1.4 | | | | | |
| 落 合 | 50 | | 30.0 | 1.0 | | | | | |
| 代々幡 | 200 | | | | | | | | |
| 野 方 | 1,260 | | 60.3 | 2.4 | 8.6 | | | | 1,970 |



| 果 | | 樹（株） | 花卉種苗 | 加工品 | 畜 産 | 水 産 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| カ キ | ク リ | そ の 他 | | | | |
| | | | 草花植木 600 | | | |
| 788 | | | | | | ノリ |
| | | | | | | ノリ |
| 2 | | ウメ 3樽 ナシ 1,520 | | | | ノリ |
| | | 300竜 | | | | |
| | | | | | | ノリ |
| | | | | | | ノリ |
| 35 | | ウメ 40 柿 40 | | | | |
| | | ビワ 10 | | | | |
| | | ウメ 20樽 ナシ 1,500竜 | 菜葉 200 | | | |
| | | 菜類 25 | | | | |
| 12 | | ウメ 430樽 ナシ 4,637 | | | | |
| | | 巴旦杏 25 | | | | |
| 107 | | ウメ 20樽 ナシ 65 | | | | |
| 60 | | ウメ 10 | | | | |
| 16 | 3 | ウメ 5 | | | | |
| 10 | | | | | | |
| 76 | 1 | | | | 卵 34,600個 | |
| | 5.8石 | | | | | |
| 146 | 14.5石 | | | | 酢 31,200 | |
| 297 | 2 | ウメ 1石 | | | 酢 11,900 | |
| | 19.7石 | | | | | |
| 43 | 5.6石 | | | | 酢 15,800 | |
| 748 | | | | | | |
| 153 | 8.3石 | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 10 | 1.5石 | | | | | |
| 5 | 1.9石 | | 植木苗 12円 | | | |
| | | | 植木苗 5 | | | |
| 100 | | | | | | |
| 55 | 8.9石 | | | タタアン 650樽 | 酢 7,500 | |

| | イモ類（荷） | | 採油作物（石） | | | 茶（貫） | 養蚕 | ワタ（貫） | アイ（貫） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 芋 | 甘藷 | ナタネ | ゴマ | エゴマ | | | | |
| 松江 | | | | | | | | 75 | |
| 瑞江 | | | | | | | | 265.7 | |
| 葛西 | | | | | | | | 198 | |
| 鹿本 | | | | | | | | 341.4 | |
| 寺島 | | | 3.8 | | | | | | |
| 本田 | | | | | | | | | |
| 亀青 | | | | | | | | | |
| 南綾瀬 | | | | | | | | | |
| 篠崎 | | | | | | | | 28.5 | |
| 小岩 | | | | | | | | 145 | |
| 金町 | | | 50.0 | | | | | 60 | 150 |
| 水元 | | | 28.0 | | | | | 300 | |
| 奥戸 | 50 | | | 0.4 | | | | 196 | |
| 隅田 | | | | | | | | | |
| 砂 | | | | | | | | | |



| 果樹（荷） | | | 花卉種苗 | 加工品 | 畜産 | 水産 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| カキ | クリ | その他 | | | | |
| | | ナシ 200箱 ブドウ 20箱<br>ナシ 160箱 ブドウ 60箱 | | | 豚 5<br>鶏1,530 豚49<br>アヒル 235<br>豚 2 | |
| | | | 草花 320荷<br>草花 150 | | | |
| | | | | | 豚 5<br>鶏 750羽 | |
| 15 | | ウメ 10 | | | 鶏 400羽<br>鶏 1,282羽 | フノリ |